

平成26年2月 保守作業(2/2)



今年初めて(且つ、本年度最後)の作業となりました。石炭記念館々長からの挨拶でスタートです。



前日の予報では雨でしたが、朝から晴れ間ものぞく、まずまずの天候となりました。車体は少し濡れていましたが、磨ける部分を少しでもキレイにと、力がこもりました。

コッペル32号機
(直方市石炭記念館)



修復から1年以上経った事／定期保守が毎回のようによに崇られてなかなか車体を磨けなかった事などから、塗装の傷みも若干、見受けられるようになりました。傷口が広がる前に、タッチアップ補修を行いました。



機関車周辺は雑草が「着実に」根をはっていました。「地上班」は草むしりに勤めました。

バスツアー
(行橋市)



久々の「国鉄バス ミニツアー」は、行橋市のD51 10を訪ねてきました。機関車本体の塗装面はだいぶ荒れているようですが、屋根付きで展示されているのは幸せな方かも...



今年11月、定期保守「第100回」を迎える本機。修復から8年近く経ち、外装の傷みが目立つようになった事から、11月に間に合わせるべく修復に着手しています。赤色になっている部分が修復／錆止めまで終わった部分です。かなりが目立ちますが、それだけ傷みがあるという事です。



「あの～、国鉄(JR)の方ですか？」と聞きたくなる、このお二方。格好から気合い入りまくりです(笑)因みに左の御仁は本当の元・国鉄マンですが、右の方は鉄道とは関連無いお仕事に就いておられます。

D51形225号機
(直方いこいの村)



すっかり青空が広がる下、作業にも精が出ます。



元々が「汽車好き」な人たちの集まりですので、近くに何人か集まると、自然にそちら系の話題に。お話も良いですが、手は止めないで下さいね(笑)



前面のプレートは「お嫁入り」が決まりました。このプレートが磨かれるのは、今回が最後になるかも知れません・・・



頑張れ、少年！出来る範囲で手伝ってくれて、頼もしい限りです。

9600ガタ9647号機
(汽車倶楽部)



子供が頑張る姿を見て、大人も気合十分！



背面のプレートは既に購入者の元へと届けられました。こちらは予備プレート。取り付けてから初めて「磨き」が入ります。

C61形18号機
(汽車倶楽部)



正月用の注連飾りを取り外しました。この車体も、塗装面の傷みが目立つようになった部分の修復を行っています。赤くなっている所が錆止めまで終えた部分です。

C61形18号機
(汽車倶楽部)



車体を見つめる瞳は、まるで恋人を見ている様・・・？



朝、石炭記念館へ出発する前に水洗い。

いすゞキュービック
(汽車倶楽部)



皆が協力して車体を拭き上げます。



最後はワックス仕上げ。

番外編



クハ421の運転台部分。「管理車両」の対象外だったため、これまで長らく「放置プレイ」状態でしたが、表面に苔生してくるに至り、放っておけなくなったか、磨いていました。